

～『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～

2025/06/16

第17回楠祭、終了しました！

2年連続開催となった本校文化祭である“楠祭”。あいにくの天気でしたが、たくさんの方に来場していただき、大盛況の中無事終了することができました。短期間の中みんなで作り上げたクラス企画。部活動発表、そして有志発表も“いかに楽しんでもらえるか”“一緒に楽しみましょう”が伝わるステージでした。吉田鉄工所さんとのコラボ企画「名刺づくり」、スタンプラリー、シンボル作成など新たな企画へのチャレンジもありました。5/31(土)当日だけでなく、時に意見の衝突や軋轢もありながら成功に向けて頑張った GLORIOUS DAYS。“この時、この瞬間でしか経験できないこの行事”を経て、前南生がどう成長していってくれるのか楽しみですね。生徒の感想(だけでなく次につながるための課題も聞きました)を紹介します。

今まで、「人の幸せが自分の幸せになる」という言葉を、どこか大げさで綺麗事のように感じていました。しかし、今回の楠祭を通して、その意味を強く実感することができたと感じています。楠祭の裏側には、様々な人達の努力と想いが詰まっています。準備期間では、何度も話し合いや試行錯誤を重ね、時には意見がぶつかることもありました。準備が思うように進まず、不安になることもありました。そんな一つ一つの経験があったからこそ、当日のあの景色があるのだと思います。初めての2年連続開催だからこそ、「去年以上にいいものをつくりたい」という思いが強くあり、「どうすれば来場者の方々や前南生、先生方にもっと楽しんでもらえるのか。」と何ヶ月も悩み続けました。今では当日の盛り上がりが見られたからこそ、その問いと向き合い、考え続けて良かったと感じています。当日での、来場者の方々の楽しそうな笑顔、前南生がそれぞれの係を責任を持ってこなす姿、先生方の温かい言葉などの全てが心に残っています。

「人の幸せが自分の幸せになるってこういうことなんだ」。そう実感できる場面が何度もあり、とても心が満たされました。そして改めて感じたのは、この楠祭は一人の力では絶対に成し遂げられなかったということです。前南生の皆さん、先生方、地域の方々、保護者の皆さん、楠祭に関わってくださった全ての方々のお陰で無事に成功させることができたと感じています。本当にありがとうございました！もちろん、振り返ってみると改善点があり、反省すべきところもあります。それでも私は、みんなで作り上げた第17回楠祭が大優勝だと胸を張って言えます。様々な人たちが「ありがとう」「最高だった」と声をかけてくれましたが、そのままその言葉を返させてください。2年連続開催できて本当に良かった。みんなの笑顔がたくさん見られてよかった。楠祭の運営を頑張りたいと思わせてくれて本当にありがとう。みんなでつくったこの楠祭を私はずっと誇りに思います！
(生徒会長兼文化祭実行委員長 腰高 紗依)

第17回楠祭の巨大シンボル！



和の雰囲気と堪能「邦楽部」

今回、リーダーとして人を動かす立場を初めて経験し、とても緊張しました。そのため、人員の割り振りを間違えてしまうなど、いくつかのミスもありました。こうした反省をふまえ、次回からは一度立ち止まって冷静に考え、ミスを減らせるよう努めたいと思います。至らない点多々ありましたが、副リーダーや先生方、そして学芸委員の皆様のご協力のおかげで、無事に文化祭を終えることができました。心より感謝申し上げます。皆様、本当にありがとうございました。(生徒会役員 岡野 夢大)



文化祭中に音楽を流すというのは昨年はなかったものなので不安もありましたが、学芸委員の皆さんや先生方のご協力のおかげで無事に放送を途切れさせることなく続けることができました。反省点としては CD を集めるのが大変だったので、それぞれの曲をどこで借りることができるのかよく調べておくべきだったなと思いました。また、放送室に入る機会はなかなかないので前南についてまだ知らなかったことを知ることができて少し嬉しかったです。(文化祭実行委員 放送・記録係 宮前柚月)

初めての2年連続開催ということではどうなるかと思いましたが、なんとか形にすることができて良かったと思います。今年は去年とは違い、吉田鉄工所さんの名刺作り体験、巨大なシンボルの作成など新たな体験をすることができ本当に良い経験になりました。課題点はシンボル作成のときになかなか人数が集まらないことが多々あったことだと思います。一人一人が意識を高く持ち、行動に移さなければいけないと強く認識しました。(文化祭実行委員 広報係 長谷部心優)

図書委員で本探しゲームの企画を考えました。大体順調に進んでいましたが、景品が少し少なかったのと、もっとリハーサルをしておけばよかったかなと思いました。また、書道パフォーマンスは緊張しましたが、たくさんの方が来てくれてとても嬉しかったです。(図書委員 井口 藍衣)

成功体験や課題を今後の人生にどう生かせるか

他にも「2年連続となったので昨年よりも自由度が増したが、その割には生徒が自主的に行動することが少なかったと感じた。自分自身も大変さが上回るようなことが多かった」「想定以上の来客で景品の数が足らなかった」「クラス企画のコンセプトが縦でかぶったときは学校全体で話し合うのもいいのでは」「短期間で何かをみんなで作り出すのはなかなか難しかった」という課題をあげてくれました。もちろん、「みんなとの友情や絆が深まりました」「達成感がすごい」という熱くあったかい感想も。

「うまくいった」「楽しませることができた」「友達の発想に刺激を受けた」という成功体験も今後の人生にとって当然プラスに働きます。一方で、自分だけでなく他の人と一緒に何かをやることの大変さにも気づき、軋轢や衝突といった経験をどう乗り越えていくのか、チームでどう一緒に作り上げていくのかを考えることが必要とすることもできたでしょう。うまくいかなかった経験を次にどう活かしていくか、その考えと行動が自分自身を成長させてくれるのです。学校は成長の場。文化祭という大きな行事を通して、次のステップに突き進め、前南生。(教頭 長岡将之)



★校長より★ 皆さんお疲れ様でした。前橋南高校50年の歴史の中で、初めて行われた2年連続の楠祭でした。来校者の皆さんに安全に楽しんでもらうことはできたでしょうか。2年連続で行う中で、色々な課題に直面したと思います。その課題を実感することができましたか。課題を解決して成功できたことはもちろん財産ですが、「あ～、こうすりゃよかった!!」と後悔し、反省し、のたうち回りたような気持ちになったことも皆さんには大切な財産になっています。成功も、失敗も楠祭でしか味わえないような経験や感情をたくさん皆さんが味わっていると良いなと思っています。(校長 原 拓史)

Action～謳歌しよう、今しかない青春を～